

報告日 令和8年1月22日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	萩市			代表者名	市長 田中 文夫
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総合政策部DX推進室	連絡先電話番号	0838-21-5477
担当者役職	室長補佐	担当者氏名	山本 剛	連絡先E-mail	
住所	758-8555 山口県萩市大字江向510番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	DX推進員研修・課長級職員向け研修
概要	「DX推進員」に対する「業務改善ワークショップ」の開催 「課長級職員」に対する「DXを成功させる組織作りについて」を学ぶ		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 計画策定支援 プロジェクトマネジメント支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和8年1月16日	支援・助言&講演(実地)	10時00分	15時30分	60
				活動時間（分）	270

派遣場所	会場名	萩市総合福祉センター	最寄駅	萩・石見空港／新山口等
	所在地	山口県萩市大字江向510番地		

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったです等詳細に）	管理職の役割の明確化として、DXを単なるIT化ではなく「働き方を楽にする仕組みづくり」とし、管理職が手を動かすのではなく、リスクの責任者（オーナー）として部下の防波堤になるべきだという説明に説得力があった。 「プレ・モータム（失敗前提分析）」などの手法を通じて、失敗を責めるのではなく学習の機会に変える重要性を、ワークショップ形式で学ぶことができた。
アドバイザーへの要望事項	来年度の研修も継続してお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	58人
	属性	自治体職員		
		住民		
	人数	58		

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	萩市では令和3年度7月にDX推進の専門部署を設置し、「DXによる幸せなまちづくり」を目指してDX推進に取り組んでいる。現時点では、DX推進室が中心となり、国策定の自治体DX推進計画に掲げられた内容を主に取り組んでいるところだが、各部局での自発的な取組は過去の本事業の取組により徐々に広がりを見せてはいるものの、まだ不足しており、職員のさらなる育成（DXマインド醸成・ITリテラシー向上）が課題となっている。なお、受講対象の「DX推進員」については、全庁的にDX推進を図ることを目的に、各部局からの推薦・立候補により毎年度配置をしており（任期1年）、DX推進に有益な情報の提供、デジタルツールの先行利用、DX関連研修の案内等を行っている。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	令和8年度末までに、デジタル技術の活用による「オンライン申請の推進」と「新たなワンストップ窓口の実現」を通じ、市民サービスの利便性を向上させる。 具体的には、オンライン申請可能な手続きの拡大、市民が時間や場所を選ばずに手続きを完結できる環境を拡充する。併せて、窓口業務の効率化と市民の負担軽減を図るために、市民一人当たりの平均待ち時間の短縮を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	課長級職員に求められる「テクノロジー目利き力」「リスク・オーナーシップ」「BPR断行・政治力」「アジャイル・マインドセット」「心理的安全性醸成力」の5つの能力について講義いただきました。また、DX推進員が提案した6つの改善提案（防災無線対応、消防団人事、許認可DX等）に対し、管理職の視点から価値・実現性・リスクを評価するグループワークの実施いただきました。生成AIを「人手」として捉え、業務のたたき台としてワークシートへの反映に活用することで、意思決定のスピードを上げる手法のデモと実習をいただきました。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	生成AI（Gemini等）を「人手」として活用し、短い時間で「たたき台」を作成できることを体感できたことにより、これまで資料作成や調査に費やしていた膨大な時間を、管理職本来の業務である「判断・決定」へ傾けられるとの感触が得られた。 完璧を求めず、小さく試行して段階的に判断していくアジャイルな手法が重要との認識を持つことができた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 各グループが提出した部下のDX提案を実行に導く意思決定とリスク管理ワークシート、アンケート
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	研修終了後の取組み実態の把握や支援
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 手法の具体化（意思決定とリスク管理）についてイメージできたと回答した職員がら段階評価で平均3.37点でした。手法の理解は進んだものの、実業務への適用にはもう少し習熟が必要を感じている職員が一定数いることが判明した。 全体の満足度は平均4点と高く管理職の役割の定義や生成AIの活用提示が、職員にとって有益であったことが判明した。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある まずは、アンケート結果を元に支援内容を検討する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	デジタル技術を活用してオンライン手続きの幅を広げ、「いつでも・どこでも」申請が完結できる環境を整えます。あわせて、窓口業務の効率化を進めることで、待ち時間を減らし、市民の皆様の利便性と負担軽減を追求します。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 揭載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

